※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	1＋1 単位	年次	２年次前期・後期
使用教科書	「詳述公共」　（実教出版）						
副教材等	「最新図説　公共」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の諸課題を捉え、考察するには、政治・経済・思想などに関する基本的な概念や理論の理解が不可欠です。まずは、授業やその復習を大切にして、基礎知識をしっかりと身につけてほしい。

次に、その知識を基に、現代の諸課題を多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を身につけるために、発展的・複合的問題の演習に取り組んでほしい。

また、板書を書き写すだけではなく、授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをメモするなど、主体的に学習の幅を広げ、また、深めることで、現代の諸課題を主体的に解決しようとする意欲を示してほしい。

2　学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決することを意識して、授業やその予習・復習等において、主体的に学習の幅を広げ、かつ、深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1編　公共の扉	第1章　社会を作る私たち 1 生涯における青年期の意義 2 青年期と自己形成の課題 3 職業生活と社会参加 4 現代社会と青年の生き方 第2章　人間としてよく生きる 1 ギリシアの思想 2 宗教の教え 3 人間の尊重 4 人間の自由と尊厳 5 個人と社会 6 主体性の確立 7 他者の尊重 8 公正な社会 第3章　民主社会の倫理 1 人間の尊厳と平等 2 自由・権利と責任・義務	a:左記の学習内容に関する概念や理論について理解し、その知識を身につけている。 b: 左記の学習内容に関する基本的な概念や理論を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 c:左記の学習内容について、授業ノートやプリントの作成、テーマ課題の作成などに主体的に取り組むことを通じて、現代の諸課題を主体的に解決することを意識している。	定期考査	定期考査	授業ノート・プリント テーマ課題 振り返りシート
	第2編よりよい社会の形成に参加する私たち	第4章　民主国家における基本原理 1 人権保障の発達と民主政治の成立 2 国民主権と民主政治の発達 第1章　日本国憲法の基本的性格 1 日本国憲法の成立 2 平和主義とわが国の安全 3 基本形人権の保障 4 人権の広がり 第2章　日本の政治機構と政治参加 1 政治機構と国民生活 2 人権保障と裁判 3 地方自治 4 選挙と政党 5 政治参加と世論	a:左記の学習内容に関する概念や理論について理解し、その知識を身につけている。 b: 左記の学習内容に関する基本的な概念や理論を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 c:左記の学習内容について、授業ノートやプリントの作成、テーマ課題の作成などに主体的に取り組むことを通じて、現代の諸課題を主体的に解決することを意識している。	定期考査	定期考査	授業ノート・プリント テーマ課題 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

後期		第3章　現代の経済社会 1 経済社会の形成と変容 2 市場のしくみ 3 現代の企業 4 経済成長と景気変動 5 金融機関の働き 6 政府の役割と財政・租税 第4章　経済活動のあり方と国民福祉 1 日本経済の歩みと近年の課題 2 中小企業と農業 3 公害防止と環境保全 4 消費者問題 5 労働問題と雇用 6 社会保障	a:左記の学習内容に関する概念や理論について理解し、その知識を身につけている。 b: 左記の学習内容に関する基本的な概念や理論を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 c:左記の学習内容について、授業ノートやプリントの作成、テーマ課題の作成などに主体的に取り組むことを通じて、現代の諸課題を主体的に解決することを意識している。	定期考査	定期考査	授業ノート・プリント テーマ課題 振り返りシート
	↓ 第3編 持続可能な社会つくりの主体となる私たち	第5章　国際政治の動向と課題 1 国際社会における政治と法 2 国家安全保障と国際連合 3 冷戦終結後の国際政治 4 軍備競争と軍備縮小 5 異なる人種・民族との共存 6 国際社会と日本 第6章　国際経済の動向と課題 1 国際経済のしくみ 2 国際経済体制の変化 3 経済のグローバル化と金融危機 4 地域経済統合と新興国 5ODA と経済協力 1 社会的な課題の発見 2 情報の収集と読み取り・分析 3 課題の探究 4 自分の考えの説明、論述 5 さらなる探究に向けて	a:左記の学習内容に関する概念や理論について理解し、その知識を身につけている。 b: 左記の学習内容に関する基本的な概念や理論を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 c:左記の学習内容について、授業ノートやプリントの作成、テーマ課題の作成などに主体的に取り組むことを通じて、現代の諸課題を主体的に解決することを意識している。	定期考査	定期考査	授業ノート・プリント テーマ課題 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度